



# 校長室だより

学校教育目標「自ら学ぶ子供」

八代市立八代小学校  
校長 村嶋 博史

R6,4,11 No.2



八代小ホームページ

## 25人の子供たちが入学しました

4月9日(火)に入学式を行い、新たに25人の子供たちが八代小学校の一員となりました。

式では、返事や話の聞き方が上手な子供がたくさんいてとても感心しました。これからの学校生活では、先生の話をよく聞いて、色々なことに挑戦したり、多くの友達と交流したりしてほしいと思います。そして、その中で、思いやりや協調性(自分と異なる立場、違う意見や考え方をもつ人たちと協力しながら、同じ目標の達成に向けて行動できる能力)、社会性(社会集団の一員であるのにふさわしい能力)、公共性(社会の一員として社会規範を順守する能力)など、集団の中でしか得られない力を身につけてほしいと思います。

保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございました。これまで大切に育ててこられましたお子様を確かにお預かりしました。安全を第一に、お子様一人一人の良さや可能性を最大限に伸ばすよう、職員一同、全力で取り組みます。どうぞ、本校教育活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 【保護者の皆様へ】

お子様が、小学校で勉強は分かるだろうか、友達はできるだろうか、給食は食べるのだろうかなどの不安をおもちの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。その不安な気持ちは、子供たちも同様にもっています。

親が、「今日の勉強は分かった? できた?」や「今日は嫌なことはなかった?」「友達からいじめられなかった?」「今日の給食は残さず全部食べた?」などのネガティブな言葉かけをすると、お子様は、ネガティブなことを話し始めます。そして、不安はどんどん大きくなり、学校に行くのが嫌になることもあるかもしれません。

逆に、「今日はどんなことを勉強したの?」「今日はどんな楽しいことがあったの?」「今日は友達とどんな楽しいことをしたの?」「今日の給食では何を食べたの?」などのポジティブな言葉かけをすると、お子様はポジティブなことを話し始めます。そして、その継続により、お子様は「学校は楽しいところ」という認識をもつようになり、生き生きとした学校生活を送るようになります。引いては、物事をスポンジのように吸収するようになります。

そういう中で、お子様の表情の変化などから、悩み事などがありそうなおときには、「なんかあったの?」ってそっと寄り添って聴いてあげてください。そして、気になることは早い段階で学校にご連絡ください。全力でその解消に取り組みます。



学校ホームページもご覧ください。インターネットや上記のQRコードからお入りください